長野県総合教育センター/長野大学連携講座 2023

総合的な学習・探求の時間 基本I

地元をフィールドにした地域の学び 2023/10/30 実施

地域学習 2023/ICT 活用教育アンケート

35 件の回答

【０】 研修会をふり返り 地域探検、記事投稿、発表会を通じ、自身が地域探検の面白さを引き出せたか、授業に役立てられるか、乗り越える壁があるか、その他、気づいたこと、考えたことなどを自由に記してください。34 件の回答

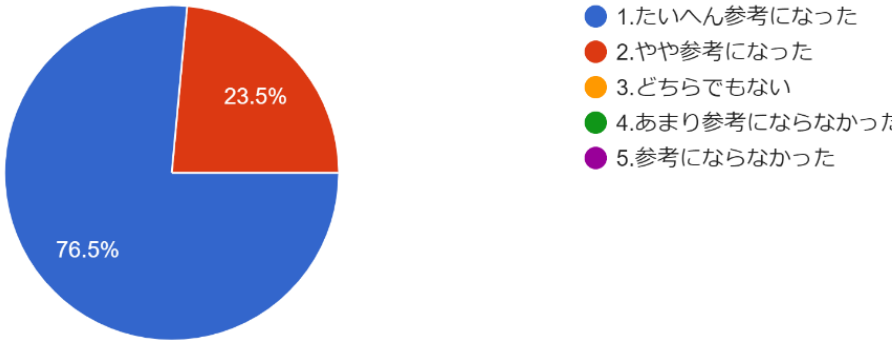
子どもたちが、知識を受け身で学習するのではなく、自らの興味関心をもとに、学習を展開していくことが大切だと感じました。
edu スクエアのアーカイブ機能を授業に役立てられる方法を考えていきたいです。
沖縄の子どもたちと交流をしているが、meet を利用しているため地域の様子は一瞬画面に映るものや交流に関係してあるものに限られてしまう。お互いの地域自慢を送り合うにはとても手軽でいいと思った。
子どものささいな疑問から探究の時間へと変えていけることが分かりました。
自分が生徒の立場を体験することで、必要な支援、授業の可能性を広げられました。
自分で歩いてみる。動いてみることで新たな発見と楽しみがあった。
伝統や有名な観光名所、特産物などがない地域で地域の学習はできるのかという疑問を持ったため、受講しました。事例を教えていただき、できる方法で自分も取り組みたいと思いました。
地域探究という取り組みは気軽に手に入る一次情報でありながら、様々な深い学びへつながるということに気づいた。何より自分自身が、街の様々な顔を発見することに楽しみを覚えたことに驚いた。飯田高校は様々な地区から生徒が集う特性を持っているので、学級づくりや探究への導入として活用していきたいと思った。
デジタルネイティブ世代にとって有効な手立てだと感じました。併せて教職員のスキルアップも必要だと感じました。
事前学習において、改めて地域に目を向けることができ、新たな発見ができた。
このようなツールや探究方法など、自身の実践に役立てたいと思いました。
EDU スクウェア等を始め、様々な有効的なツールをまだまだ知らないことを認識したので、いたるところで情報収集をしていくようにしたい。

事前課題でまずは自分が体験することで、自分が地域の中でどのようなことに興味関心や疑問を抱いたかが分かり、さらに投稿した内容を他の先生方に見ていただくことで、自分も気づかなかったような視点から追究が深まりそうだということが見えてきました。授業でも役立てることができそうです。ライセンスについては生徒に考えさせる必要があるかと思いますが、それを考えさせるのも大切な学習であると思います。
前川先生のおしゃった通り生徒が興味を持ってくれるか。それはまずはやらせてみたい
地域探検して興味深い・疑問に思った景色を写真として残せること、それを地図上に残せることはとても面白いし、学習の蓄積がわかりやすいと感じた。調べたことも説明欄で残せ、他の代の子どもも見れるというのは学習が活かされる感じがとてもする。
地域探検のみならず理科や社会など様々な場面での活用が期待できると感じた。ただ、edu スクウェアの利用に当たっては一方でユーザー登録をする際に個人名を入力しなければならないということで、個人情報の保護などの課題や小学校においては学年によってタブレットを持ち歩くことの安全性など考えさせられることも多かった。
edu スクウェアを実際に使ってみて、地域探検の導入に使う方法としてすごく良いと感じた。一方で、導入以降（探求から探究）に移る過程に自分は課題があり、詳しく知りたかったので、その点をご紹介いただいた実践例をもとに調べていきたい。
生徒の主体性を引き出すのにたいへんよい方法･ツール。問題は、前川先生が最後に述べていた時間の確保。文科省で入試を変える、学習指導要領を変える必要がある(探究的な学びを推進しながら、受験科目、単位･時間配分 40 人規模など)
新たな地域探究のアプローチを知れて興味深かった。実際に授業の中で使っていくとなると、もう少し試行錯誤が必要であると感じた。また、他校の先生と話し合い、意見交換できたのが有意義だった。
高校生の探究学習を始める段階で、地域探究を取り入れることが多いが、生徒が地域についてあまり興味関心がなく、問を立てることに戸惑う場面があります。今回の地域探究では実際歩いて自分で写真を撮ることで、興味関心を持たせるという点でとても参考になりました。自分自身も、学校の周りを散歩して新しいことをたくさん発見してとても楽しかったです。1時間ほど散歩したのですが、短時間でもこれほど色々なことが見つかるのかと驚きました。次年度の1年生の探究学習の始まりのところで是非取り入れてみたいと思います。ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末の仕様について、生徒はほとんど問題はないと思います。教職員の中には苦手とする方も多いので、教員間で情報共有をして乗り越えていければと思います。
自分自身の興味関心がどこに働くか再認識できたと同時に、その内発性が子どもの学びにとっても重要であると感じました。また、大人と子供では感覚も違うので、また違った視点で素材を見つけると思います。ICTの活用には安全面でリスクもあると思いますが、活用しながら乗り越えられると思います。
edu スクウェアを活用することによって、地域学習の導入場面で子どもたちが興味を持ち、そこから自ら課題を見つけることができるのではないかと感じました。総合学習以外の他教科にお

いても、年代、地域を超えて情報を交換できることから、様々な学習に活かせることができると思いました。
とても楽しく、取り掛かりやすいツールがあることを知りました。地域に目を向けた子どもたちが、ワクワクしながら学ぶ様子が目に浮かびます。また、自分自身も夢中になって地域の宝を見つけることができたので、今後もその姿勢を大切にしたいと思います。
地域を回って写真を撮った時に始めは自分の興味のあるものをひたすら撮っていたが、後で確認したところ共通点があり、興味深く思った。やはり共有して発表をするというのが大切だと思った。発表をすることで写真を撮った人が何を考えているのか、具体的に感じることができた。探究は調べ学習で終わってしまうことが多いので、能動的にフィールドワークをしながら探究できるのが魅力的だと思った。
身近なところでフィールドワークを行うことにより、自分の興味に気づくきっかけになると思いました。また、多くの先生方のご意見から、ICT の活用場面のヒントをいただくことができました。探究学習のテーマ選びや進め方で悩む生徒に対して、地域学習はそもそも何に興味を持っているのか気づかせる機会になると思いました。本日は貴重な機会をありがとうございました。
実際に探検や投稿を行ったことで、子どもたちの目線になって考えることができ、どんなことに興味関心を持つのかや探究の面白さを学ぶことができた。また総合的な学習における ICT の活用も具体的に分かり、実践に生かしていきたいと感じた。
3年生社会科の地域探検等に使えるツールだと感じました。自分が撮った写真はいくつも投稿したかったので、子どもたちも同じだろうと感じます。見たいもの興味を引いた物は子どもたち一人一人違います。それをみんなで見合う方法、作文にしなくても簡単にできるよさは使ってみたいです。
edu スクウェアという新たなツールを知ることができたので、自分のタブレットに記録しておくだけでなく、来年度の同学年につなげたり、地域の方に発信したり、他校と交流できたり、様々な場面で活動の幅が広がると思いました。
地元を歩き回ることで「面白い！」と思えることがそんなにあるかな~?と思いながら事前学習に取り組みましたが，「最低でも20枚以上撮るようにしよう」を心がけたら1時間も経たない時間内で，けっこう見つけられたように思います。「まずやってみる」のがいいと思います。
授業での学習を深めるためにも、地域をフィールドワークし、振り返ってみたり、フィールドワークしたことを授業で振り返ってみたりして学習を深めることができる。また、地域の課題を見つけ、それについて調べ深めていくことができ、主体的な学習につなげることができる。
生徒が自ら情報を得て、それを発信していくことは、やりがいにつながり、生徒が主体的に学習していくことに有効だと感じた。edu スクウェアは初めて聞いたが、今後の活用に可能性を感じました。
私自身が子どもになった気持ちで、学習活動をさせていただきました。自分で興味や関心を持ち、探究活動に繋げていく、それを他者と共有してより深めていくために活用できるツールであ

ると感じました。また児童一括登録の方法などについて教えていただけますとありがたいです。よろしくお願いいたします。
実際に探検してみると自分も気が付かなかった、地域の不思議やおもしろさを発見することができ、なんだか人に伝えたくなった。また、同じグループの先生の投稿を見せていただくと、自分は全然気にしていなかったところに注目していてとてもおもしろかった。人によって興味関心が異なり、でもそれが同じ地域や近くにあるのはとてもワクワクするなと感じた。使用する際は新たにページ？を開設する…と書いてあったが、そうしたら他地域の学校などとも共有できるのか、また、共有したいものと共有したくないものがあるときにはどうしたら良いのか、などが気になった。
子どもの目線に立ち、地域を探検することで、何気ない風景にも面白味を感じた。

【１】本日の研修会は総合的な学習・探求の時間の参考になりましたか？
34 件の回答



分析を公開

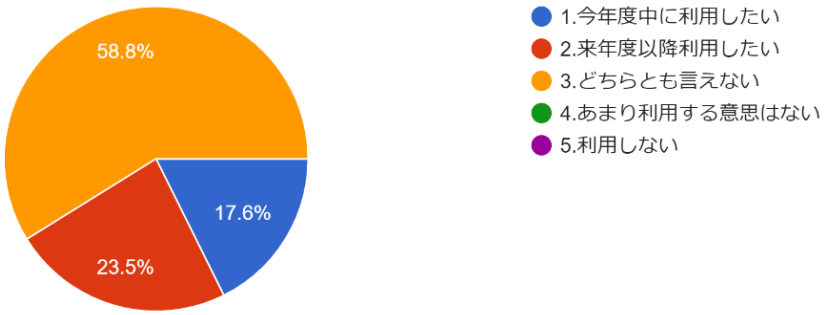
【１】　総合的な学習・探求の時間で地域学習、ICT 活用などの面で困っていること、解決したい課題があれば教えてください。25 件の回答

ICT を効果的に活用するために、ICT の使い方やモラルについてある程度時間を割かないといけないことに悩みがあります。
ICT をどういった場面で活用すればいいか悩む。 実践事例を紹介してもらっても、あまりメリットを感じないため、活用が進まない。
子どもたちがどのように発表し合っているのかを見てみたいです。
ICT 活用に伴って、子どもたちが慣れるまでの時間の確保が難しい。

地域との連携。学生さんの発表で時間が合わせることが大変。とおっしゃっていましたが、生徒指導、保護者対応、学校行事など日々のことに追われて、時間調整することが大変です。外部が関係するときは尚更。時間がとにかく足りないと感じています。
同僚の ICT スキルの底上げ
探究学習においては、時間数が足りないこと、担当者任せになってしまっていることなど。
ICTの使い方の、職員側の使いこなし（生徒の方が詳しい）
生徒たちが行っているプロジェクト活動を、地域の実情に合わせて、効果的に広めていく方法
学校全体として ICT に否定的な意見が多く、例えば休み時間の使用を現状では禁止となっている。だが、子どもたちのタイピング能力は向上せず、いきなりタブレットを使わせようとしても何をどうしていいのかわからないという児童が大半を占める。学校全体の動きと個人の思惑でのズレがあり、もどかしい気持ちがあります。
「探究」を子どもたちが進めていくために、教師としてどんなことをすべきか。
基本的なスキルに乏しいので、詳しい人に聞いて進めるしかない。
探究のコマをもっている先生の負担感。生徒たちはなかなか調べ学習になりがち。（ただ1コマだと、外に出ていく時間も確保が難しい部分がある。）
調べ学習で終わってしまう生徒が多い。教職員の中にも探究学習についてあまり知らない方も多く、指導を合わせていくことが難しい。
自ら課題を見つけるのが難しいと感じていました。今日学んだことは、自ら課題を見つけるのに効果的な手段の一つだと感じました。
アウトプットすること、学んだことを誰かに伝える方法を子どもたちと考えているところです。
生徒同士の共有、時間が足りない、内容の深め方（生徒に興味を持たせるには）
探究学習を深める段階でどのようにアドバイスをしていったらいいのか迷う時がある。
たぶん、子どもたちに課題をみつけてねと言ってもすぐには無理です。だからこそ、3年生あたりから自分が地域の面白さを蓄積したものが、そこで使えるはずです。
児童用タブレットでは、規制がかかってしまうページが多く、なかなか思うように調べ学習が進まない。 まだまだ教員側が ICT に関する知識が少ないので、このように学べる機会をこれからも作っていただけるとありがたい。
画像の取り扱い。他人の家や物の撮影。人物が映り込む。他人の敷地の撮影など、公開しなければよいが、公開した場合に学校として責任が取り切れない。
いわゆる「行事総合」に時間を使われてしまい、3年間継続した内容で行う「総合的な学習の時間」の確保に難しさを感じる。
自分自身が ICT への苦手意識がまだあります。今回のように実際にやってみることで、楽しみながら学び、活用へとつなげられるように感じました。苦手だからと避けずに ICT を良いツールとして活用できるよう取り組んでいきたいです。
中学校では（他の学校ではやれているのかもしれませんが）学級での総合的な学習の時間がなかなか取れていない（行事や他の活動で置き換えられてしまうことも多い）。小学校では、他の

教科との兼ね合いでまとまって取れるときと空いてしまうときがある。また、共通して単元全体をコーディネートするときに1から（0から）つくると担任の負担が大きいと感じる。なかなかじっくり研究し、構想する時間がつくれない。

【３】d-commons.netの利用を希望する学...ラスのサービスを新設して運用することを推奨します。
34 件の回答

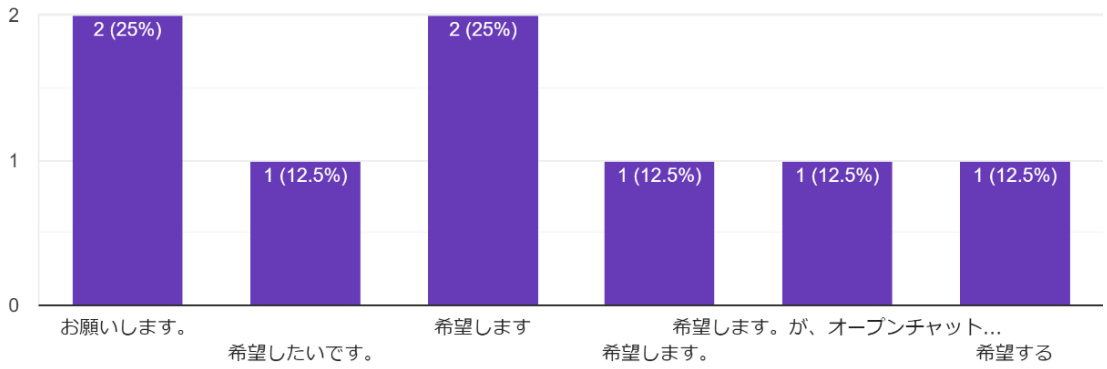


《【3】で 1. 2. を選んだ方に》利用目的・対象授業などどのように利用したいかを簡略に教えてください。16 件の回答

投稿アーカイブの利用、情報のアウトプット場面
総合的な学習の地域学習、地区生徒会の通学路・危険箇所確認
5 年総合　米作りのまとめ等
総合的な学習・国語科・生活単元
総合的な学習の時間・社会科・理科
探究(特に導入)
新1年生の探究学習
総合的な学習の時間
生活化・総合的な学習の時間
美術I（高校1年生）校内の魅力的な写真を撮って映画を誘致しよう
総合学習で取り組んでいる養蚕についての関係箇所のマップ作りなどに役立てたい。
総合的な学習の時間に，今年度より1年生は「地域探検」を行っている。実際に前川先生や長野大学の生徒さんたちに来ていただき，「探究学習とは」というところから，「地域探検」のオリエンテーションをしていただけたらありがたい。
総合的な探求の時間　1 年生のフィールドワーク（地元探求）

主に、総合的な学習の時間の中で、生徒が自分たちの取組を外に発信するためのツールとしての活用を考えました。また、総合や教科の授業の一環として、同学年や学校内だけでなく、他の中学校との情報共有なども必要に応じては行ってみたいと思いました。
自閉症情緒障がい学級を担任しております。学級内でどのように活用できるかを考えていくと同時に校内へと広げていきたいです。
総合的な学習の時間で活用したい。

【４】近日中にLINEにオープンチャットを開設します。ご希望の方には後日参加先をお伝えします。
8 件の回答



【5】お名前 （差し支えなければ）23 件の回答
結果は略

【6】メールアドレス（差し支えなければ）20 件の回答
結果は略

ありがとうございました。